

公益財団法人上野教育文化財団

2026年度奨学生募集ガイド

【目的】

当財団は、海技者養成機関で学ぶ学生に奨学金を支給することで在学中の経済的な負担を軽減し、勉学に専念できる環境を作り、我が国の海運の未来を拓く優秀な海技人材を育成することを目的としています。

また奨学金の給付以外にも海運業界への就労支援、及び他の奨学生やOBとの交流機会を設けることで、海運業界内での人的ネットワークを構築し、海運の重要性や海上勤務の醍醐味を肌で感じる機会を提供いたします。

当財団の奨学金は給付型で原則返済の義務はありません。

【募集内容】

1. 募集対象者

海技系大学、海技系大学校、水産大学校の新3年生、商船高等専門学校の新4年生

2. 応募資格

（1）船員教育機関や水産系学術機関に在学し、3級以上の海技士を目指す学生であること
その他、奨学生募集要項に定める応募資格のすべてに該当する者（学校から推薦を受けた者）

3. 募集人数

15名程度

4. 奨学金給付金額

月額2万円、毎年6月及び10月の年2回それぞれ12万円を奨学生指定の預金口座へ送金

5. 給付期間

2026年4月に遡及して適用し、在学する学校の最短就業年限の終期（乗船実習期間を含む）まで。（原則、水産系の大学生及び大学校生は36ヶ月、商船系の大学生及び高等専門学校生は30ヶ月）

6. 奨学金制度の併用

他の奨学金制度との併用の有無は問いません（併用可）

7. 応募期限

2026年4月30日（木）（必着）

【奨学生の義務】

1. 普段の活動

3級以上の海技士資格取得等高い目標をもって勉学に励み、また品行正しい生活態度を保つ。

2. 年2回、10月及び4月（4月には成績証明を含む）生活状況報告（用紙1枚程度）の提出

3. 年1回の交流会への参加（コロナの感染状況により開催の可否を判断）

【役員等】

評議員

上野孝 上野ランステック(株) 代表取締役会長、横浜商工会議所会頭
加藤由起夫 日本内航海運組合総連合会 (前) 理事長
今井和男 虎門中央法律事務所 代表弁護士
河村俊信 日本内航海運総連合会現会長

理事

上野元 上野トランステック(株) 上野グループホールディングス(株) 特別顧問
伊佐和雄 サンライズオイルサービス(株) (元) 代表取締役
西村健一 日本内航タンカー海運組合 (元) 専務理事

奨学生選考委員

山口一朗 (一社) 海外運輸協力協会 理事長、日本郵船(株) (元) アドバイザー
森隆行 流通科学大学 商学部名誉教授
河野真理子 早稲田大学 法学学術院教授、交通政策審議会委員、総合海洋政策本部 (元) 参与